

グループさん紹介

大分市美術館ボランティア 「こもれ美」ワークグループ



▲「私たちのグループの和に入りませんか」とワークグループのみなさん

「わあ！おもしろい模様が現れたっ」
ビー玉や小石を包んで縛った輪ゴムを外すと、ハンカチには美しい藍の模様が浮かび出ました。嬉しそうな顔・顔・顔。

これは、美術館主催の子ども講座「楽しい染色」の光景です。夏休み子ども講座は、風鈴の絵付け、水墨画、粘土で作るそっくりアートなど多彩です。「こもれ美」のワークグループは、これらの企画に関わり、講習を受けながら講座をサポートしてきました。

また、美術館の絵画や作品をより楽しく鑑賞できるように、ハイビジョン紙芝居を作成しています。福田平八郎、田能



▲みごとな藍染めの出来上がり

DATA

団体名／こもれ美
代表世話人／池田公良 会員数／100名
事務局／大分市美術館 097-554-5800(代表)

村竹田、宇治山哲平などの紙芝居は、ユニークな作風で人物や作品に対する親しみがわいてきます。
「こもれ美」には、ワークグループとともに、資料・トーク・普及運営のグループがあり、お互いに連携をとりながらそれぞれの分野で活躍しています。
これらの活動を続けている方々からは、「子ども達の感動した姿を見た時は充実感があります」「自分も楽しいし、子どもの笑顔を見るのが嬉しくて・・・」「学びながら楽しく活動できるので、美術への関心が高まります」などの声が聞かれます。
『楽しんで見て・学ぶ大分市美術館』のもとで、「こもれ美」はこれからもよき応援者となることでしょう。

貸出し本紹介

～男女共同参画推進室では、書籍やビデオの貸出しをしています～



女の活路男の末路
袖井 孝子 (著)
中央法規出版

女性と男性では、どのように老いていくか、いかに老いを受容するかなどに違いがある。夫婦・親子関係、お金、介護などさまざまな問題で生ずる男女の意識のズレや葛藤、要因等を社会的視点から分析し、その解決策を探る。

“男女共同参画週間”啓発キャンペーン



6月23日～29日の男女共同参画週間にあわせて大分駅前などで団体活動者らによるキャンペーンを行いました。

編集後記

47万都市に二人っきりの女性議員。数が揃えば良いという単純な話ではありませんが、やはり少ないんだなあと改めて感じました。少しずつ時代が変わりつつある中、この大分市にもその時代の変化が数として現れる日が来ますように。(田辺)

今回の講師の増岡さんのお話を伺って、何とも言えないすがすがしい気分になりました。「ことばはプレゼント」なるほどシンプルだけれども心に残ることばだと思いました。(井上)

先日、貸出し用の『DV防止啓発』のDVDを視聴しました。具体例と被害者に対応する専門相談員の様子、支援体制などがよくわかりました。(湊)

編集 田辺 薫
井上 順子
湊 初代

男女共同参画推進室
TEL 5 3 7 - 5 7 2 4 / FAX 5 3 6 - 4 0 4 4
メールアドレス danjokyodo@city.oita.oita.jp